11509その他の輸送用機械等製造業における死傷災害事例(最大99事例まで)（2020年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物（小）	労働者規模
1	2020	1	17～18	作業終了後の片付けの際、使用済みの段ボールをまとめるためのビニール紐を入れている箱（約35㎝×35㎝×15㎝、重さ約1.5㎏）を両手で持ち、段ボールの保管場所へ歩いていた。そのとき、別の作業員が片付けていた段ボール箱（約30㎝×40㎝×10㎝）に左足を引っ掛けて前方へ転倒し、右膝を打ち、右膝蓋骨を折った。	74	2	418	10～29
2	2020	1	11～12	出荷場で、材料をフォークリフトで片付け中、材料が崩れ落下し、左足を挟み骨折した。	48	4	379	30～49
3	2020	1	13～14	立型旋盤で、製品の取付作業を行った際、機械の中から外へ出ようと右足を外に出したとき、若干高低差があり、地面に降りた瞬間につまずき転倒し、右足関節捻挫、打撲を負った。	27	19	418	100～299
4	2020	1	16～17	作業中に、雨が降ってきたため、運搬用パレットにシートを掛けようと、走って駆け寄ったところ、パレットの縁につまずき転倒し、右膝関節血種、右膝蓋骨を折った。	60	2	611	10～29
5	2020	2	14～15	開発センター裏庭で架装車両の営業検査立ち会い中、昇降タラップを使って前向きに降りる際、タラップを踏み外して後部バンパに臀部をぶつけ尾骨を折った。	43	1	221	50～99
6	2020	2	10～11	工場内塗装ラインで、ロボット部品にフックを掛ける際に向きを間違えたため、修正しようとして部品のバランスが崩れ、添えていた左手指が木製の盤木間に挟まれ、左第二指骨折を負った。	46	7	521	1000～9999
			12	自動車部品塗装ライン工程で、確認のためシャワー室（床上約				30～

7	2020	2	～13	2m）に行って戻る際、はしごを下りていてバランスを崩し、落下して右足大腿骨付け根を折った。	58	1	413	49
8	2020	3	15～16	事業所内で、デファレンシャルギアを交換作業中、ミッションジャッキーを使用し、デファレンシャルギアを下ろして移動する際、バランスを崩してギアが落ち、右手人差し指、中指を挟み、腱切断を負った。	42	4	361	1～9
9	2020	3	10～11	工場内で教室黒板の上下装置の枠を切断していた際、回転切り刃が製品に引っ掛かった。その反動で刃が跳ね返り、左脛に切創を負った。	30	8	153	30～49
10	2020	3	16～17	タップ作業中、左手示指をタップにより貫通創を負った。	58	8	364	—
11	2020	4	16～17	自動車の板金・加工・販売を行う会社で、作業工場内で、ワイヤーグラインダーを使用し、部品（鉄製のボルト）のサビを取り除く清掃作業を行った。その作業中、回転するグラインダーによって、飛び散った僅かな遺物が右目に飛び込んできたようで、右外傷性白内障を発症した。	55	4	153	1～9
12	2020	4	11～12	作業場で不要になった棚を撤去するため、棚を移動する作業中、棚と床の間に木の棒を入れ持ち上げたところ、第5腰椎折体を骨折した。	52	19	921	50～99
13	2020	4	14～15	工場内で、サンダーで製品をならしていたとき、サンダーが製品の角に当たり、その反動で左手指に切傷を負った。	21	8	153	30～49
14	2020	4	10～11	ミニバックホウのエンジンオーバーヒートを点検中、ラジエーターキャップを開けた際に冷却水が噴き出し、右手と右顔面に熱傷を負った。	35	11	142	10～29
			14	脚立に乗って、敷地内の樹木の枝を切ろうとしていたとき、バラ				10～

15	2020	5	～15	ンスを崩し、脚立から落下して右足首を骨折した。	63	1	371	29
16	2020	5	13～14	共同住宅エレベーターで点検作業中、ピット内の制御基盤を確認しようとしたとき、エレベーターにトランクルームが設置されていることを失念し、作業スペースが確保されていると誤認し、トランクルームと作業台の間に挟まれ、背骨を折った。	54	6	214	10～29
17	2020	5	16～17	検査出荷場内にてグラインダーで製品を削っていたとき、製品を砥石と機械の隙間に挟み、砥石が破損した。その際、飛んできた砥石の破片が右手第一指に当たって骨折した。	63	4	153	30～49
18	2020	5	11～12	鉄工所のプレス作業場で、45tプレス機でUバンドを打ち抜く際に、金型の材料順送り治具がなかったので、両手打ちボタンではなく、足踏みスイッチを使用していた。途中で材料が引っ掛かったので、スイッチに足を掛けた状態で解消しようとしたところ、機械が作動し、左手が潰されて中指を骨折した。	58	7	154	10～29
19	2020	5	9～10	チェーンを使ってチョーク吊りをし、鋼板をラックに差し込んだため、吊り具のチェーンがラックのポールに引っ掛かったにも関わらず、クレーンをさらに横行させ、左環指不全切断、左手背部切創、両顔面切創を負った。	44	7	211	1000～9999
20	2020	5	16～17	軍手とゴム手袋をはめて、備品の部品をローラー台車に載せ、内面のペイント剥離作業中、部品を回転させた際、台車と部品の間に左手小指を挟み、打撲、挫創、創感染を負った。	65	7	521	500～999
21	2020	6	9～10	工場内で、オイルの入ったドラム缶をクレーンで持ち上げた際、バランスが取れておらず、右足の上に落下した。このとき、右足小指を骨折した。	32	4	211	30～49
22	2020	6	13～14	工場内で、高速カッターで鉄の丸棒を切断しようとした際、スタートボタンを押したときに、左手皮手袋をベルトに巻き込み、左手薬指を骨折した。	48	7	159	30～49

23	2020	7	23～24	加工機ラインで金属製品をバリ取り機にセットし稼動ボタンを押したとき、製品を少しずれてセットしたことに気付き直そうとした際、バリ取り機に右手親指の付け根から手首にかけて肉を削られ、右手親指の腱4本、動脈1本を損傷した。	60	7	169	1～9
24	2020	7	12～13	昼食後、職場に戻るため階段を下りていた際、1段飛ばしで下りていたところ踏み外し、右足をひねって骨折した。	22	19	413	100～299
25	2020	8	8～9	作業場内で、部品を持って作業台に向かう途中、空箱置き場をまたいで通ろうとした。その際、つまずいて転倒し、作業台で顔面を打ち、鼻骨を折った。	60	3	417	100～299
26	2020	8	23～24	部品の縫製作業（立ち作業）中、治具を取るため、右に体をひねった際、腰痛症を負った。	33	19	921	500～999
27	2020	8	17～18	工場で、置場表示（高さ3.5m）を脚立に乗り設置中、足を踏み外し、脚立から滑り転落した。その際、左足首を骨折した。	63	1	371	30～49
28	2020	9	14～15	工場内にて旋盤で品物を磨いていたときに、両手を旋盤に巻き込まれ、右手中指、左手人差し指、中指を骨折した。	71	7	151	1～9
29	2020	9	16～17	フォークリフトで構内作業中、商品を格納するとき、ネステナー（ラック）が隣のネステナーに引っ掛かり、傾いた状態になった。そのとき、フォークリフトを降り、手で傾いたネステナーを直そうとしたところ、隣のネステナーとの間に右小指を挟んで挫傷および骨折を負った。	68	7	362	50～99
30	2020	9	15～16	工場で、噛み合い試験機自動運転中、NG品を取り出すため手を伸ばした際、ストッカーが戻り、右手が挟まれ、右手に圧挫傷を負った。	54	7	169	100～299

31	2020	9	5～6	工場内で、パイプ切削機を使用しパイプ切断作業中、切りカスを除去する際、装置を停止せずに行ったため、上下するレールの間に左手人差し指先端が挟まれ、裂傷を負った。	25	7	159	10～29
32	2020	9	12～13	昼休み中、駐車場へ向かっている途中の坂で足を滑らせて転倒し、頭部を打撲、再度転倒して、右顔、肩、肘、膝に切創を負った。	51	2	416	10～29
33	2020	10	10～11	加工技術の担当者が加工部の精度調整中に、設備から加工治具を外し、修理後に取り付けを行う際に、加工治具の基準部と可動部に右手中指を挟まれ、右手中指先端に切断を負った。	47	7	159	500～999
34	2020	10	15～16	船だまりに保留中の船の狭い機関室内で、エンジンのシリンダーヘッド（重さ50kg）を修理するため、分解組み立て作業中に、右上腕部に痛みがあり、右上腕骨を折った。	71	19	921	1～9
35	2020	10	17～18	工場内で、コンベア沿いを歩行中、作業手袋を外すことに気を取られ、コンベアの脚部分につまずき転倒した。その際、左手の平・左顎・右手首・右大腿・左胸下に打撲を負った。	62	2	224	50～99
36	2020	10	16～17	積み込みエリアでブランク材（約1.5kg）を集積する作業中、5枚重ねてキャスター台車に積み込んだ際、重心が手前側に偏っていたため台車が転倒し、右足甲にブランク材が落下して第3、4趾を骨折した。	51	4	362	100～299
37	2020	11	15～16	事業所内で、手洗い、マスクを着用し勤務中、新型コロナ感染症患者1名が発覚し、PCR検査を実施し、陽性判定となり、新型コロナウイルス感染症を発症した	44	90	911	100～299
38	2020	11	8～9	工場内で、ボール盤を使用し部品の穴あけ作業中、切りくずを除去しようと手を出した際、主軸に手が巻き込まれ、右手薬指に切傷を負い、手の甲を脱臼した。	65	7	152	10～29
39	2020	11	9～	作業場で、マストを外し梱包中、クレーンのフックをマスト上部の連結材に掛けて下りる際、手足が滑り落下した。このとき、第3	44	1	222	500～

			10	腰椎圧迫骨折、右膝関節打撲傷を負った。				999
40	2020	11	7～8	機械（マシニング）の始業前点検時に転倒し、床に手をついた際に左手首を骨折した。	53	2	417	1～9
41	2020	12	18～19	社内での濃厚接触者はなかったが、発熱の症状が見られたため、PCR検査を実施したところ陽性と判定され、新型コロナウィルス感染症を発症した。	34	90	911	500～999
42	2020	12	14～15	一時置場で、高さが1.5mの棚上に製品を置く作業中、棚の天板に上がり移動した際、天板が揺れバランスを崩して転落し、左足踵を粉砕骨折した。	58	1	419	300～499
43	2020	12	13～14	本社屋内で、大掃除のためシンナーを使用して作業を行っていた。その後、気分不良を訴えて歩行困難になり、検査の結果トルエン中毒と診断された。	33	12	514	30～49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：労働災害の分類の概要

各小業種における死傷災害事例(最大99事例まで)（2020年）に戻る。